

基本目標2 子育て世代に選ばれるまちづくり

(1) 結婚・妊娠期からの切れ目ない支援

											現状値が目標を達成または5年間に目標値を2回以上達成した指標の数			
											3/3			
施策	重要業績評価指標 (KPI)									参考 第2期の目標値 (R6)	担当課 (室)	事業の進捗状況に関する評価 およびKPIの増減理由等	課題および今後の方針等	
	指標名	当初値 (H26)	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	現状値 (R1実績)	目標値 (R1)	達成度 (%) 現状値/ 目標値					
23	1歳6か月児健康診査	受診率	95.2%	92.1%	100.8%	91.7%	98.9%	99.7%	97%	102.8	(乳幼児の健康状態の把握率) 100%	けんこう課	1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査の未受診者に対し、文書での受診勧奨だけでなく、電話連絡などを行っており、目標値を達成できている。3歳児健康診査については昨年度より受診率はやや低下しているが、年度末に関しては新型コロナウイルス感染症のための受診控えがあったことも関係している。	今後も未受診者に対し、同様の受診勧奨を続けるが、新型コロナウイルス感染症のため、今後も受診控えがあることが予測される。電話連絡の際は、保護者の気持ちを鑑み、無理な受診は勧めず、電話にて子どもの様子や保護者の精神面等を確認し、遅れてもいいので受診できるときに受診するよう伝えていく。
24	3歳児健康診査	受診率	92.2%	90.2%	95.7%	94.5%	97.5%	94.4%	94%	100.4				
25	ブックスタート事業	利用率	95.7%	96.6%	97.9%	100%	100%	100%	100%	100.0	100%	大橋記念図書館	平成16年度より継続して実施していることから、市民へも浸透しており利用率の高まりがみられる。	ブックスタートを一過性のもので終わらせないための図書館行事を充実していく。

(2) 安心して子どもを産み育てられる環境づくり

											現状値が目標を達成または5年間に目標値を2回以上達成した指標の数			
											3/3			
施策	重要業績評価指標 (KPI)									参考 第2期の目標値 (R6)	担当課 (室)	事業の進捗状況に関する評価 およびKPIの増減理由等	課題および今後の方針等	
	指標名	当初値 (H26)	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	現状値 (R1実績)	目標値 (R1)	達成度 (%) 現状値/ 目標値					
26	子育て支援センターの運営(まろっこ広場)	地域子育て支援拠点事業利用者数(人/年)	-	-	8,695人	9,853人	9,646人	10,606人	9,000人	117.8	9,700人	こども課	平成28年4月の子育て支援センターの開所以来、認知度も徐々に高くなってきている。また、平成29年度から開始した一時預かりの利用者数についても当初の想定を超え、地域における子育て支援の拠点としての機能を果たすことができている。	今後においても、利用者等からの意見や要望からニーズを把握し、できる限り運営に反映させ、子育て支援の拠点として継続的な役割を果たしていく。
27		一時預かり事業利用者数(人/年)	-	-	-	202人	421人	430人	200人	215.0	430人			
28		利用者支援事業利用者数(人/年)	-	-	378人	369人	361人	461人	400人	115.3	400人			

(3) 未来を拓く力をはぐくむ人づくり

重要業績評価指標 (KPI)											参考	担当課(室)	事業の進捗状況に関する評価 およびKPIの増減理由等	課題および今後の方針等
施策	指標名	当初値 (H26)	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	現状値 (R1実績)	目標値 (R1)	達成度(%) 現状値/ 目標値	第2期の目標 値 (R6)				
29	さかいで-なかたど-うたづ算数・数学オリンピック	参加者数 (人/年)	186人	222人	210人	239人	239人	228人	230人	99.1	-	学校教育課	平成27年度より宇多津町、平成29年度より綾川町からの参加もあり、参加地域の拡大や児童生徒のリピーターも増えていることから、参加者が少しずつ増加していたが、令和元年度については、中学生の参加は順調に増加する一方で小学生の参加が減少し、合計人数としては平成30年度を下回る結果となった。	問題作成に係る教員数に変化はないが、回数を重ねるごとに、新たなオリジナル問題の作成は困難になりつつあり、教員の負担は年々増加している。 また、参加者についてもリピーター以外で増加できるよう、興味関心をひくような広報活動について工夫を重ねる。
30	図書館出前授業	参加者数 (人/年)	235人	262人	944人	1,135人	925人	872人	300人	290.7	-	大橋記念図書館	出前授業は2校(中学校・幼稚園)と回数は減ったが、大規模校での実施により参加人数は目標を達成できた。参加者には好評であり、読書活動の推進に努めることができた。	今後も幼・小・中学校を対象とした出前授業を企画し、参加者の確保に努め、読書活動を推進する。 市民のニーズに沿った講師の選定、講演内容を検討していく。
31	カヌーのまちさかいで推進事業	カヌー研修センターの利用者数 (人/年)	11,884人	12,922人	15,179人	15,539人	17,826人	10,759人	15,500人	69.4	18,000人	生涯学習課	平成30年度は、全国中学生カヌー大会開催等により、1万7千人超となり、目標値を超えたが、令和元年度は令和2年3月以降の新型コロナウイルス感染症拡大の影響による休校のための小中高生の利用激減及び多くの参加者を見込める府中湖レガッタの中止等により利用者の大幅減少となった。	令和4年度の高校総体に向けて、コースレーン、棧橋の改修を図る。また、高校総体他、大きな大会を実施するにあたり不可欠な観客席の設置も実現を図る。 東京2020オリンピック・パラリンピックが実施された場合のハンガリーチームの受け入れ体制を整えることも視野に入れつつ、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めるとともに、スポーツの振興や大会への参加意識の向上、本市の活性化やにぎわいの創出を図る。
32	王越宿泊型野外活動施設「交流の里 おうごし」[再掲7]	利用者数 (人/年) H29.4開設	-	-	-	3,843人	3,636人	3,208人	2,000人	160.4	4,000人	生涯学習課	平成29年に開設した宿泊型野外活動施設「交流の里 おうごし」は、利用団体等からの要望もあり、平成30年に宿泊室へのエアコン設置を行い、利便性の向上を図った。令和元年度においては、利用団体は増加したものの、大人数での利用が少なかったのと、年度末の新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用者数の減となっている。	利用者の増加を図るため、王越地区の魅力ある資源やピザ窯等の設備を利用した体験プログラムを地元団体の協力のもと8コース増設した。引き続き、トンボ学校を始めとする季節に応じたイベントの開催を行う他、新しくなったとんぼランドをPRするなど王越町の魅力の発信や王越地区のにぎわいの創出を図っていく。

現状値が目標を達成または5年間に目標値を2回以上達成した指標の数

4/4

(4) 女性や高齢者が活躍できる環境の整備

現状値が目標を達成または5年間に目標値を2回以上達成した指標の数 1/4

施策	重要業績評価指標 (KPI)									参考 第2期の目標値 (R6)	担当課 (室)	事業の進捗状況に関する評価 およびKPIの増減理由等	課題および今後の方針等	
	指標名	当初値 (H26)	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	現状値 (R1実績)	目標値 (R1)	達成度 (%) 現状値 /目標値					
33	審議会等における女性委員の就任	審議会等における女性委員の割合	14.5%	15.5%	16.2%	17.7%	17.2%	18.2%	30%	60.7	30%	人権課	平成26年度から微増ではあるが毎年着実に増加している。平成30年度に一度減少したものの、令和元年度に複数の審議会にて女性委員の割合が増加しており、現状値は、当初値から比較して最も高い割合となっている。	現在の総委員数384人に対する目標値(3割)は116人であり、46人不足している状況である。現状推移からは目標年度での達成は非常に厳しい状況である。 庁内各課が所管している審議会への女性委員の積極的増員について、各課に働きかけていく中、現状分析に基づく個別対策が必要である。
34	管理職への女性の登用	市の係長級以上の女性職員の割合	26.7%	27.6%	30.4%	30.6%	31.8%	31.4%	30%	104.7	33%	職員課	目標値である30%には平成28年度で達成した。なお、令和2年4月1日時点における数値は33.3%となっている。	女性活躍推進法が平成28年4月1日施行となり、今後も能力が高く、実績ある女性を積極的に管理職に登用し、女性管理職の割合30%という数字を維持していく。
35	女性消防団	女性消防団員数	21名	28名	30名	27名	26名	26名	30名	86.7	30名	消防本部	防災訓練や救急講習・外国人研修等において、女性消防団員のきめ細かな指導は常に好評を得ている。昨年度は、議会報告会で講師を務めるなど、多方面で講習を開催している。また、平成29年度に全国女性消防操法大会に出場した以降も継続的に訓練を実施し、地域の消防団員として着実に力をつけている。	現状に留まらず、活動の場を広げていくとともに勧誘活動も実施していく。 また、消防団活動の中で女性が実施することで効果が上がる活動について検討し、さらに活躍の場を増やしていく。
36	認知症サポーター	登録者数	1,519人	2,602人	3,062人	3,352人	3,838人	4,167人	5,000人	83.3	5,000人	かいご課	認知症サポーター養成講座の定期開催等受講者の増加を図るも1回あたりの受講者が減少し、増加に繋がっていない。 新型コロナウイルス感染症拡大のため、講座の開催ができなかった。	講座開催について、金融機関や商店など新規対象の開拓、小・中学校への働きかけの強化を通じて、登録者数の増加を図っていく。